

日本画

応募点数	46点	招待作品	12点
入賞点数	7点	展示点数	58点
入選点数	39点	◎は移動展出品作品	

(総 評) 今年の出品数は前年とほぼ同数で、内3名の初入選がありました。初々しい作品をはじめ、ベテランで長年習得された技術と経験を生かされた個性的で創作意欲溢れる作品等、発想が豊かでバラエティーに溢れた力作が並びました。

それぞれの作者が努力され思いが込められた作品群を観ますと、県内最大の美術展である県展出品への意気込みが感じられました。

日本画制作は、粒子のある絵具をにかわ液で一色ずつ手作業で、丁寧にまぜて作るなど、画面に着色するまでに時間を要す、根気を必要とする絵画です。

入賞作品は、11名の審査員で厳正かつ慎重に投票をくり返し行いました。それぞれの作者が持つ技術を表現されており、思いが込められた作品群の中、選考にあたりましては大変苦心いたしました。まず訴えかけてくる内容か、その内容を支える優れた技法や表現をされているか、画面の隙間から見える仕事の丹念さや誠実さがあるか等々を評価の軸といたしました。残念ながら紙一重の差で入賞を果せなかった作品も少なくありませんでした。

出品された総ての方が、この発表、展示を自分を高める場としていただき、来年もぜひ挑戦していただきたいと願っています。

一見、平坦で光沢がなく、ザラザラした画面は、日本画ならではの質感です。豊かな感性や発想、技術で表現された作品58点をごゆっくりご鑑賞ください。

(文責 福間小夜子)

知事賞 ◎

湧く

佐々木

勉 (松江市)

牡丹の花を常識にとらわれない色調で表現されています。日本画は本紙(和紙)の上に岩絵具をのせて表現しますが「揉み紙」という手法を用いています。本紙をもんで出来たシワを利用して画面に変化をつけています。

花は面、葉は線で描き、さまざまな新しい技法に挑戦した意欲作です。

絵の情感、花びらの薄さ、季節感、構図、花芯の表現などを今後の課題として更なる研鑽を望みます。

(文責 安部 富男)

金賞 ⑧

^{ぎくろ}
柘榴

^{いの} ^{うえ} ^{さくら} ^こ
井上 櫻子 (松江市)

こちらの作者は、人物画を得意とされる気が致します。顔の表情、手のしぐさなどの動きで、全体の雰囲気醸し出されています。岩絵具の使い方がすばらしく、色調、色相が落ちつき、バックの描き方も、合わせて、好感度が高いです。受賞おめでとうございます。(文責 村上ななほ)

銀賞 ⑧

^{しょか} ^{ようこう}
初夏の陽光

^い ^{とう} ^{あき} ^{のり}
伊藤 明德 (出雲市)

出品作品の中で、ひととき斬新な構図で目を引かれました。夏の日に青々と育つ麦の穂にスポットを当て、降り注ぐ夏の陽を、モダンな色合いで構成されておりながら、一本一本の麦の描写を丁寧に描かれています。下草には露草が、朝の光を思い起こす脇役として描かれており、この作品の題名に相応しい瑞々しさを感じます。今後も新しい視点での作品作りを楽しみにしております。(文責 東野布由美)

銀賞 ⑧

^{かずら}
葛

^{きよ} ^{はら} ^{しげ} ^{はる}
清原 茂治 (松江市)

確かなデッサンに裏打ちされた写生、繊細に構築された画面に作者の力を感じます。黄土色をベースに、トーンを落とした緑と枯葉色の葛をぬって幾重にも重なり交差するつるが、不思議なリズムを生み出しています。自然の生命力をも感じる画面からは、今更ながら日本画はすばらしいと思わせてくれる作品でした。(文責 清水 誠子)

銅賞 ⑧

^{はつ}
初ほたる

^{はら} ^{くに} ^こ
原 邦子 (出雲市)

一次審査の段階で印象に残る作品に出会いました。若い二人の浴衣姿、手の平で光るほたるの淡い光、バックを群青で染め上げた技法も併せて素敵な作品に仕上がっています。少し欲を言えば群青を水群緑系で少し押えて初夏の爽やかさを出すと同時に手の平に陰影をつけてでもほたるの光る様子を強調されたらどうでしょうか。これからの作品を楽しみに待っています。(文責 角田 智竭)

銅賞 ③

無邪氣

安部悦子 (安来市)

絵の審査はタイム競技とは異なり、審査員の感性の部分は大きい。

私がこの作品を初めて見た時に「動いている」と感じました。何故そう感じたのかじっくり見ると、一つはブランコの傾斜、二つ目は回りの空気が動いている。そして顔の表情がすごく楽しそう。これらの表現が画面全体を動きのある楽しい作品に仕上げたと思います。

技術的にも高いものがありますが、子どもさんの靴を少し強くした方が良いと思います。
(文責 小村 俊美)

銅賞 ③

想い

野津恵子 (松江市)

幼子をやさしく抱きかかえる母子の像は、柔らかな色調で、軽やかな空気の流れを感じさせる心地良い作品です。

バックに配した、カサブランカの控え目な色調表現も、温かい母親の愛情を感じさせてくれ好感がもてます。

的確な人物デッサン、安定した構図、色調共に熟練した技術を感じる佳作です。

今後の発展を期待します。
(文責 大森 幹雄)

入選

題名	氏名	備考
伝統ホーランエンヤ	経種一生 (雲南市)	
お母さんみたいになるよ	佐藤さゆみ (出雲市)	
小屋の片隅	有田秀子 (出雲市)	
来迎	花井吉郎 (松江市)	
平成最後の雪景色	小谷紘子 (安来市)	
佳き日	曳野みどり (松江市)	
追憶	菅野あい子 (松江市)	
秋日	岩崎隆 (松江市)	
干網	鹿田純子 (松江市)	日本画協会奨励賞
olive 大樹	岸井二美 (松江市)	日本画協会奨励賞
池の朝	杉原瑩子 (松江市)	
諸行無常	榊原真 (松江市)	
たわむれ	飯塚眞治 (出雲市)	
日暮	渡部スミ子 (安来市)	
③ 潮騒	西藤真弓 (浜田市)	日本画協会賞
③ 夢境の断片	古森和代 (浜田市)	
春容	恩田ゆき子 (奥出雲町)	

	題名	氏名	備考
	再びの花	目黒 誠津子 (奥出雲町)	
	秋雨上がりの合間に	千原 優子 (奥出雲町)	
	くにびきヶ浜	稲村 正志 (出雲市)	
	その先へ	引野 春雄 (出雲市)	
	奥出雲のたたら	北脇 豊史 (出雲市)	
	水面	岸 静子 (出雲市)	
⑩	観	小川 明夫 (浜田市)	
	「反目」ハシビロコウ	福間 美智子 (出雲市)	
	偲ぶ	西村 朋子 (出雲市)	
	花と実の競演	勝部 早苗 (出雲市)	
	たばこする	黒田 育子 (出雲市)	
	溪流	米原 修司 (安来市)	
⑩	夜明け前	原 真由美 (出雲市)	日本画協会新人賞
	処暑	伊藤 圭子 (出雲市)	会員
	バス停	須谷 幹子 (出雲市)	会員
	10年に一度の船神事	田中 初子 (出雲市)	会員
	森の妖精	内藤 章江 (松江市)	会員
	涼	広田 あつ子 (安来市)	会員
	庭に咲く	松下 純子 (出雲市)	会員
⑩	ドライフラワー	松原 安杏 (松江市)	会員 日本画協会会員奨励賞
⑩	遊ぶ	森脇 純子 (出雲市)	会員 日本画協会会員賞
	九月の雨	米原 ひろこ (出雲市)	会員

招待

	題名	氏名	備考
	游	福間 小夜子 (出雲市)	
	映	安部 富男 (松江市)	
	群遊	大森 幹雄 (出雲市)	
	夏の日	小村 俊美 (出雲市)	
	しぐれる	清水 誠子 (出雲市)	
	漁	角田 智竭 (松江市)	
⑩	想	内藤 博信 (松江市)	
⑩	時	中村 康二 (奥出雲町)	
	百花斎放	東野 布由美 (出雲市)	
	秋の日	村上 ななほ (松江市)	
	梅雨入り	吉岡 珠恵 (松江市)	
	山小屋	浜村 厚子 (出雲市)	